

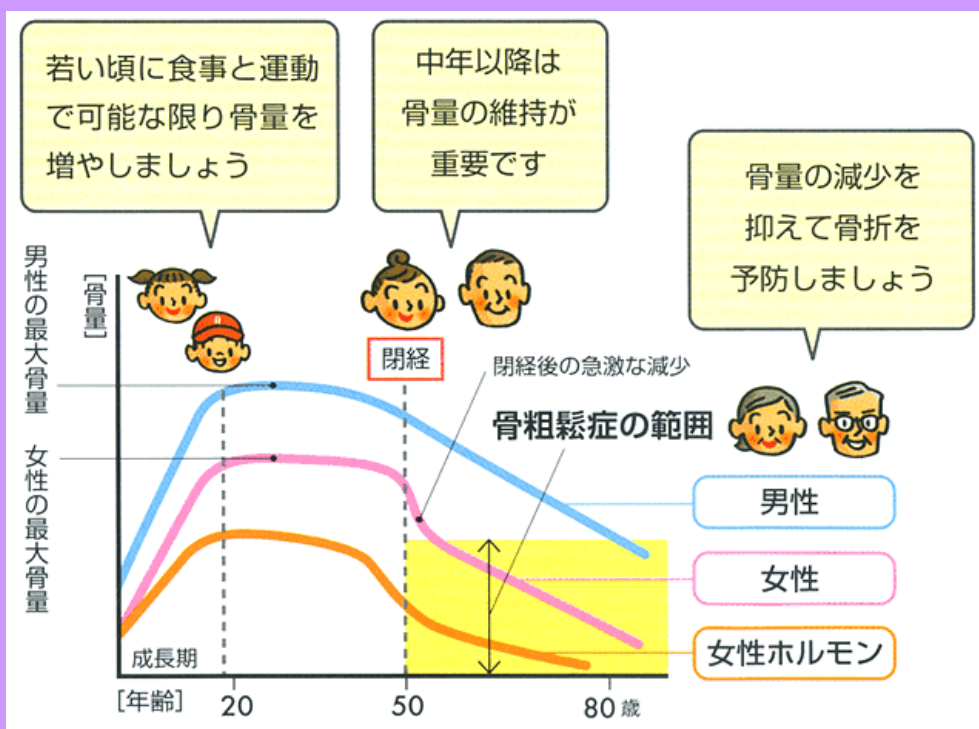
骨密度測定装置を更新いたしました

骨粗鬆症ってどんな病気？

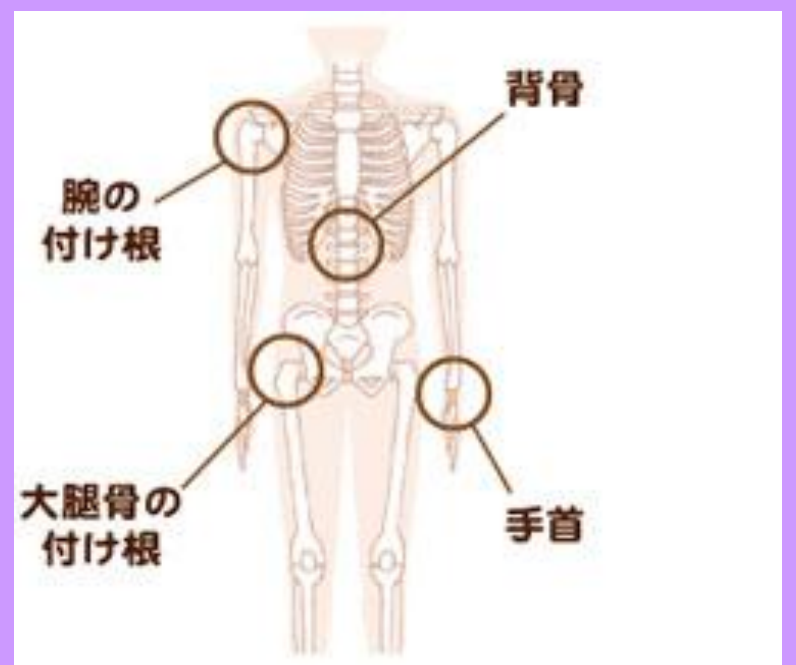
古くなり劣化した骨はメンテナンスされて新しい骨へと生まれ変わっています。古くなった骨を溶かす破骨細胞と、新しい骨をつくる骨芽細胞の働きによって骨にも新陳代謝があります。破骨細胞が骨を溶かすことを骨吸収、骨芽細胞が新しい骨をつくることを骨形成といいます。骨吸収が数週間続いたあと、数カ月にもわたって骨形成が行われ、溶けた部分に新しい骨が埋められていきます。骨粗鬆症は、この骨の新陳代謝のバランスが悪くなることで起こる病気です。女性は閉経後、女性ホルモンのエストロゲンの分泌量が急速に減少します。エストロゲンの分泌量が減ると骨吸収が異常に高まり、骨形成が追いつかなくなります。つまり、骨吸収によって溶けてしまった部分を新しい骨で埋めることが間に合わなくなり、スカスカの状態の骨になってしまうのです。骨がもろくなると日常生活のちょっとした不注意で骨折がおこりやすくなります。

原因として以下のような事が挙げられています。

- ・加齢
- ・50歳以後の骨折
- ・更年期と閉経
- ・糖尿病
- ・喫煙と過度の飲酒
- ・運動不足
- ・無理なダイエット
- ・低体重
- ・関節リウマチ
- ・ステロイド剤を使用した治療経験



三世代で取り組む骨粗鬆症の予防



骨折がおこりやすい部位

検査を受け始める時期

女性の場合は40歳位から検査を受け骨量の変化を観ていくことが勧められます。

男性の場合は50歳位から骨量に注意しましょう。



当院では装置の更新を実施致しました。測定時間は15秒程度です。

左の写真の様な姿勢で測定を行います。同年代と比較した値がグラフとともに見やすく表示され、複数回行えば前回との比較も表示されます。

是非、チェックをお勧めします。

検査料金 3,300円(税込)

是非、年に1度のチェックを

詳しくは職員までお声掛けください